



日程/H18.10.16-17 (学術交流会館 大講堂)

第1日(10月16日)

9:30 | ガイダンス S-cubic推進委員 辻井 薫(大学院理学院、生命理学専攻)

帝人(株) 新事業開発グループ 研究企画推進部 先端バイオ企画担当部長 鷺見 芳彦

10:00 | 企業の夢(帝人の現状と未来の設計)

11:00 | 企業の研究者の夢(夢の実現)

12:00 | 昼食

13:00 | 質問・討論会「鷺見部長と語る」

14:00 | 終了

日産自動車(株) 総合研究所 燃料電池研究所 エキスパートリーダー 飯山 明裕

14:15 | 日産自動車における研究開発

15:15 | 究極の自動車用動力源をめざして

16:15 | 休憩

16:30 | 質問・討論会「飯山エキスパートリーダーと語る」

17:30 | 終了

18:00 | 懇親会(翌日の講師にも参加して頂きます)

参加費: 3,000円程度(当日会場で徴収します)

第2日(10月17日)

第一製薬(株) 研究開発本部 創剤代謝研究所 研究グループ長 菊池 寛

9:00 | 国際化の荒波における日本製薬産業の現状と未来

10:00 | DDS技術による創薬をめざして

11:00 | 休憩

11:15 | 質問・討論会「菊池グループ長と語る」

12:15 | 終了

昼食

13:00	総括討論・まとめ	S-cubic	S-cubic
	レポート指示		
15:30	終了		

参加人数

講義		懇親会	
PD	4	PD	1
D3	2	D3	0
D2	3	D2	3
D1	7	D1	1
M2	3	M2	0
M1	42	M1	2
合計	61	合計	7

講義後のアンケートより

- 研究というものに対する考え方が変わった。
- 大学に於ける基礎研究と企業に於ける研究との違いが再認識できた。
- どんな人材が求められているのかを知ることが出来て、有意義だった。
- DCに進む意義を感じる事が出来た。
- 企業の実態は、実際に自分で触れてみないと情報を吸収できないと思った。
- 今回の3社の話を聞くと、企業はドクターを必要としていると感じられた。
- 研究者としての心構え、社会人としての心構えを聞くことが出来てよかった。
- 企業研究のシビアな面を学ぶことが出来た。
- 自分の研究に対するモチベーションが上がった。
- このような機会をもっと増やして欲しいと思った。
- 次回は是非、博士卒の講師の方の話が聞きたい。
- 理学出身の講師の方の話が聞きたい。
- 公的な研究機関の話も聞きたい。
- 企業の中だけでなく、社会の中でのPh.Dの役割等の話が聞きたい。
- 学生、PDだけでなく先生にも是非聞いていただきたいと思った。

▶ [ウィンドウを閉じる](#)